

令和 7 年度

事業可能性評価

A評価事業

目次

(五十音順)

銘木端材を活用したステーショナリー雑貨の開発

..... 1

株式会社 F-S T Y L E

岐阜県産の未利用バイオマスを原料としたバイオコークスの市場構築事業

..... 2

ALTERNATIVE ENERGY JAPAN 株式会社

結合強度を強化した肉球型カシメ技術

..... 3

有限会社シバ金型

空飛ぶクルマ「B e e d o l (ビードル)」の製造と販売

..... 4

白銀技研株式会社

【事業可能性評価事業とは】

【A評価（事業可能性大）企業への支援策】

【これまでにA評価を受けた企業数】

..... 5

【A評価を受けた企業の声】

【お問い合わせ】

今年度は4社が
A評価を受けました!!



事業名	銘木端材を活用したステーショナリー雑貨の開発
概要・特徴	<p>【概要】</p> <p>文具・雑貨業界において、常に新しい文具・雑貨を求める傾向にあります。この中で競争力を高めるために、革新的な技術を用いてアイデア商品を作り続ける必要があります。</p> <p>競争力の激しい文具・ギフト市場にあって、年間沢山の商品が生まれそして消えていく中で、ステーショナリー雑貨を中心とした卸売業は、常にアンテナを張り巡らし顧客ニーズの動向を読んだ鮮度のある新商品が必要です。大手企業には真似が出来ない、手づくりならではの「物づくり」及び「商品開発」に知恵を絞っています。</p> <p>弱小企業として新商品開発は、売上向上と販路を広げるためには必要不可欠な作業であり、今後も永続的にしていく考えです。</p> <p>当社の木材の端材を活かした手づくり文具は、地球環境の視点から、自然の恵みである木材を余すことなく利用した物づくりとして好評です。</p> <p>当社の文具を手に触れ使っていただけることで、木に愛着を持ってもらい、そして好きになってもらう取り組みとして、今後も続けていきたいです。</p> <p>【特徴】</p> <p>■銘木カッターナイフ</p> <p>銘木材を使用し、木肌が手に馴染む優しい握り心地のカッターナイフです。手にすると「ホツ」とするような温かみを感じられ、便利で使いやすいと好評です。</p> <p>木工職人が一つひとつグラインダーと紙やすりで削り出した手作りの逸品をご提供しており、自然が作り出す銘木材の杢目や色合いには、深みのある色合いとともに柔らかい質感があります。独自のデザインで、手元に置いておくだけでおしゃれで洗練された雰囲気を演出できます。天然素材の温もりや経年変化を感じられるカッターナイフをお試しください。</p> 

企業名	株式会社 F-STYLE		
代表者	代表取締役社長 古田耕造		
HP	https://www.f-style-japan.com/		
所在地	岐阜県岐阜市西野町 7-2		
電話	058-227-5222	E-mail	kouzou_furuta@yahoo.co.jp

事業名	岐阜県産の未利用バイオマスを原料としたバイオコークスの市場構築事業
概要・特徴	<p>【概要】</p> <p>当社は、「地域の課題を、未来のエネルギーへ」を経営理念に掲げ、未利用バイオマス資源を利用して次世代固形燃料「バイオコークス（以下、BIC）」の製造・販売をしています。</p> <p>飛騨地域内で発生している未利用の木くずや牛糞堆肥を原料としてBICを製造し、東海圏内の製鋼業者を中心に石炭コークスの代替燃料として供給をスタートしています。</p> <p>家畜糞の堆肥を原料としたBICの製造は世界初となります。</p> <p>【特徴】</p> <p><u>資源の地域内循環と未利用バイオマスの有効活用、製鋼業の脱炭素に貢献します</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ①県内で有効活用されていないバイオマス資源を原料としてBICを製造します。 ②東海圏を中心に製鉄・製鋼・鋳物業界へ石炭コークスの代替としてBICを供給し、日本の産業を支える鉄鋼業界の脱炭素に貢献します。 ③岐阜県内でのBIC利用先を発掘し、エネルギーの域内循環を目指します。 <p style="text-align: center;">AEJ(株)の牛糞堆肥バイオコークスサイクル 「地域の課題を、未来のエネルギーへ」</p>

企業名	ALTERNATIVE ENERGY JAPAN 株式会社		
代表者	代表取締役 小池 雄大		
HP	https://al-energy.jp/		
所在地	岐阜県高山市岡本町一丁目 99 番地		
電話	0576-62-2253(落合工場)	E-mail	contact@al-energy.jp

事業名	結合強度を強化した肉球型カシメ技術
概要・特徴	<p>【概要】 有限会社シバ金型は、1985年に創業し、自動車、農機具、電力（トランス等）、屋外物置など幅広い分野のプレス金型を製造している会社です。 独自の技術とノウハウで、特許を多数取得しています。 ものづくり日本大賞優秀賞受賞等、他社にはない付加価値のある金型を提供しています。</p> <p>新技術の、結合強度を強化した肉球型カシメ技術は、EV化が進む自動車業界だけでなく、電機業界・家庭用品・雑貨等にも展開が期待できます。</p> <p>この一年間で新聞や雑誌など複数のメディアでも紹介されました。 昨年の人とくるまのテクノロジー展 2025 では様々な業界から数多くの相談を受けました。</p> <p>【特徴】 溶接困難な組み合わせの金属を、熱変形の心配無く接合します。</p> <p>特許出願済みのこの技術は、従来型カシメの弱点を、特徴的な形とボルトを併用することで強化しました。</p>  

企業名	有限会社シバ金型		
代表者	取締役 芝 世志造		
HP	https://shibakanagata.net/		
所在地	岐阜県各務原市各務東町2丁目206-2		
電話	058-370-6607	E-mail	shibakanagata@mst.ocn.ne.jp

事業名	空飛ぶクルマ「Beedol（ビードル）」の製造と販売 (1人乗り電動エアモビリティ「Beedol」の量産と販売)		
概要・特徴	<p>【概要】</p> <p>ドローンを人が乗れるサイズに大型化した1人乗り電動エアモビリティ「Beedol」を量産化して一般販売することを目指しています。全てが電動で制御されるエアモビリティは、当社の電気設計技術と高い親和性を持つと確信し、3年前より新規事業として本格的に開発をスタートしました。世界中で開発が進む電動エアモビリティは「100年に一度の移動革命」になりうる可能性を秘めており、<u>航空産業の集積地でもある岐阜県から開発を推進</u>していきたいと考えています。</p> <p>エアモビリティの品質保証と量産体制の構築には、多くの関連企業のご協力と資金調達が不可欠です。当社が旗振り役となりこの地域の航空産業を盛り上げたいと考えています。</p> <p>4分の1サイズの試験機の製作と試験飛行からスタートして、2024年と2025年に連続してフルスケール機2機を製造して試験飛行を繰り返しています。1号機は<u>70kgのダミー人形を浮上させることに成功し、その知見を活かして改良製造した2号機では各務原空宇宙博の屋外テントにて34秒間の有人飛行に成功しました。</u></p> <p>2号機は15分間連続飛行できる性能をもっており、昨今技術進化が著しいバッテリーを最新型に変更すれば、さらに2倍の航続時間になると試算しています。</p> <p><u>2027年に東京湾の無着陸横断に挑戦し、2030年頃の販売開始を目指します。</u></p> <p>【特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① <u>固定翼</u>があり、水平高速飛行時に消費電流を抑えられる (1回の充電で航続距離100kmを目指し、都市部ではEV相当の燃費になり得る) ② プロペラ数を最小限にし、翼を折畳む事で<u>商用パン</u>に積載して持ち運び可能 ③ <u>水に浮く機体</u>で河川や沿岸部等の水上を飛行する場合にも安全性が高い ④ ドローンの自動制御技術を応用して風に耐え、航空機等と比べ<u>操縦が簡単</u>    <p>[4分の1試験機] [空宇宙博での有人飛行の様子] [次回製作予定の量産モデル]</p>		

企業名	白銀技研株式会社		
代表者	代表取締役 西 洋介		
HP	https://shirogane.ltt.jp		
所在地	岐阜県飛騨市古川町栄 2-2-7		
電話	0577-54-0489	E-mail	co@shirogane.ltt.jp

【事業可能性評価事業とは】

企業の事業プランを、現役の経営者も含めた複数の専門家からなる評価委員が、事業の有望性・技術の先端性・発展性等を総合的に分析し、事業化の可能性をA、B、Cの三段階で評価します。

応募された企業には、当センターが継続的なアドバイス等、評価の段階に応じて必要な支援を行います。特にA評価を受けた企業は「金融機関・マスコミへの積極的紹介」などの支援を得ることができます。

【A評価（事業可能性大）企業への支援策】

① 岐阜県中小企業資金融資制度の対象

※融資を受けるには、別途、金融機関及び県信用保証協会の審査が必要となります。

② 当センターの実施する、投資家や融資関係者向けのビジネスプラン発表会への優先的出展

③ 金融機関、マスコミへの積極的紹介

④ 県産業イノベーション推進課で実施する一部の補助事業における加点評価

⑤ 当センターによる事業化に向けた積極的な支援等

【これまでにA評価を受けた企業数】

平成 14 年度	1社	平成 15 年度	4社	平成 16 年度	6社	平成 17 年度	8社
平成 18 年度	7社	平成 19 年度	10社	平成 20 年度	8社	平成 21 年度	7社
平成 22 年度	7社	平成 23 年度	9社	平成 24 年度	9社	平成 25 年度	17 社
平成 26 年度	11 社	平成 27 年度	14 社	平成 28 年度	14 社	平成 29 年度	12 社
平成 30 年度	8社	令和元年度	10社	令和 2 年度	7社	令和 3 年度	7社
令和 4 年度	5社	令和 5 年度	5社	令和 6 年度	4社	令和 7 年度	4社
							計 延べ 194 社(実数 176 社)

【A評価を受けた企業の声】

○ PR効果・販路開拓

「新聞・テレビ等、マスコミに取り上げられたことで、新たな取引先の開拓に結びついた」

「今まで低迷していたが、問い合わせ・引き合いが、大幅に増えた」

○ 資金調達

「金融機関からの新規融資に結びついた」「補助金が採択された」

○ モチベーション

「社員のモチベーションアップ・やる気アップにつながった」

○ その他、効果

「会社・商品の信用力が増し、営業しやすくなった」

【お問い合わせ】

公益財団法人岐阜県産業経済振興センター 産業振興部 創業支援課

TEL : 058-277-1080 E-mail : sien@gpc-gifu.or.jp